

記者発表資料

発表先 石川県政記者クラブ

平成23年 6月17日

扱い

配布を持って解禁



国土交通省 北陸地方整備局

金沢 河川 国道 事務所

水防活動に必要な技術の習得を行います

～水防工法技術研究会の開催～

日 時：平成23年6月20日（月） 10：00～15：00

場 所：川北町朝日地先 水辺の楽校西部拠点（手取川右岸 手取川大橋下流）

主 催：手取川・梯川・石川海岸水防連絡会

【石川県，小松市，白山市，能美市，加賀市，川北町，野々市町，北陸電力(株)，電源開発(株)，西日本旅客鉄道(株)，中日本高速道路(株)，金沢地方気象台，国土交通省 金沢河川国道事務所】

参加機関：石川県内から26機関，各市町村消防団，約160名

・当日は水防専門家を招き，技術指導を受けながら実施します。

内 容：・縄結束，鉄線結束，土のう作りの基本的実技

・月の輪工，立てかご工，木流し工，シート張り工，積み土のう工，改良積み土のう工の工法実技など

・家庭でも出来る簡易水防工法も紹介します。

※ 現地取材は，午後1時30分頃から2時30分頃に実戦的な水防作業を実施していますので写りがよろしいかと思えます。

【問い合わせ先】

国土交通省北陸地方整備局 金沢河川国道事務所

調査第一課長 氏名 大角 一浩

TEL : 076-264-9910 (直通)

実施目的

日本では毎年のように水害が発生しています。今年3月11日の東日本大震災では、津波により多くの死者・行方不明者の被害がありました。また6月に入り、梅雨前線の活性化により西日本に非常に激しい雨が降り続き、九州では記録的豪雨となっています。

一方、石川県内では、平成20年に金沢市内にてゲリラ豪雨による浅野川のはん濫をはじめ、平成18年7月豪雨では、梯川においてははん濫危険水位(3.6m)を大きく上回る4.91mを観測し、小松市内12町内8,558名に対して避難準備情報が出されるなど、水害に関する話題が絶えることはありません。

手取川・梯川・石川海岸水防連絡会では、出水に対する備えとして、迅速かつ適確な水防技術の習得・研鑽及び水防知識・心構えの再認識を目的に「水防工法技術研究会」を実施するものです。



「月の輪工」の作業状況



家庭でも出来る簡易水防工法の紹介

参考

・ 水防作業とは

水害を防ぎ、また被害を少なくするため、水防団等により実施される水防活動であり、古くから洪水により河川が越水や漏水などが見られた場合に、被災の原因・川の特性、地盤の状況にそれぞれ適した工法が考えられ受け継がれています。良く用いられる工法としては、川が越水するときを使用される「積み土のう工」、堤防に漏水が見られたときに使用される「月の輪工」、堤防が削られたときに使用される「シート張り工」「木流し工」「立てかご工」などがあります。